

みずほCustomer Desk Report 2022/04/22号 (As of 2022/04/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	128.23
TKY 9:00AM	128.00	1.0850	139.03	GBP/USD	1.3067
SYD-NY High	128.70	1.0936	140.00	AUD/USD	0.7444
SYD-NY Low	127.82	1.0824	138.81		
NY 5:00 PM	128.38	1.0831	139.06		
NY DOW	34,792.76	▲ 368.03	日本2年債	-0.0600	▲1.00bp
NASDAQ	13,174.65	▲ 278.41	日本10年債	0.2500	0.00bp
S&P	4,393.66	▲ 65.79	米国2年債	2.6718	9.86bp
日経平均	27,553.06	335.21	米国5年債	2.9620	10.22bp
TOPIX	1,928.00	12.85	米国10年債	2.9057	7.26bp
シカゴ日経先物	27,185.00	▲ 20.00	独10年債	0.9225	6.20bp
ロンドンFT	7,627.95	▲ 1.27	英10年債	2.0130	9.90bp
DAX	14,502.41	140.38	豪10年債	3.0680	▲3.90bp
ハンセン指数	20,682.22	▲ 262.45	USDJPY 1M Vol	10.50	▲0.35%
上海総合	3,079.81	▲ 71.24	USDJPY 3M Vol	9.93	▲0.17%
NY金	1,948.20	▲ 7.40	USDJPY 6M Vol	9.55	▲0.17%
WTI	103.79	1.60	USDJPY 1M 25RR	0.08	Yen Put Over
CRB指数	309.21	1.96	EURJPY 3M Vol	10.20	0.06%
ドルインデックス	100.58	0.19	EURJPY 6M Vol	10.00	▲0.04%

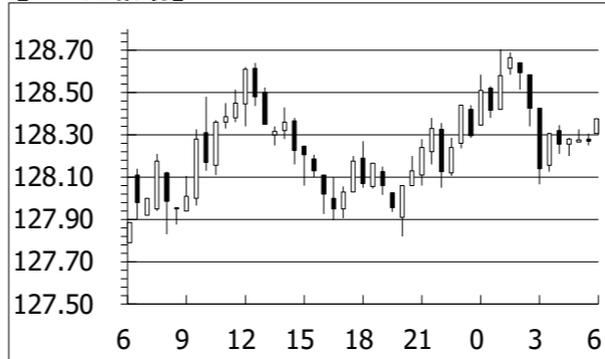
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月21日	15:30	欧 デギンドスECB副総裁		「データ次第で7月に利上げを行う可能性がある」
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	3月 7.4%/2.4%	7.5%/2.5%
	18:00	欧 コアCPI・確報	3月 2.9%	3.0%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	4月 17.6	21.4
	21:30	米 新規失業保険申請件数	16-Apr 184k	180k
4月22日	00:30	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演		「複数回会合で利上げする可能性高い」
	02:00	米 パウエルFRB議長 講演		「5月FOMCでは50bp利上げが議題となる」

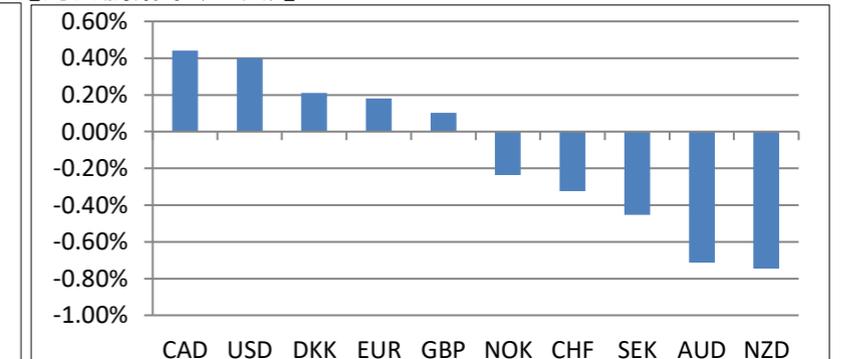
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月22日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	3月 1.2%/0.8%/-0.8%	0.9%/0.6%/-1.0%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料)(前年比/前月比)	3月 0.8%/-0.4%	4.6%/-0.7%
	17:00	欧 製造業PMI/サービス業PMI・速報	4月 54.9/55.0	56.5/55.6
	21:30	加 小売売上高(前月比)	2月 -0.4%	3.2%
	22:00	欧 ラガルドECB総裁 講演	-	-
	22:45	米 製造業PMI/サービス業PMI・速報	4月 58.0/58.0	58.8/58.0
	23:00	英 ベイリーBOE総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.50-129.00	1.080-1.0950	138.50-141.00

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は128.00レベルでオープン。鈴木財務相による「G7財務相会議において、為替は主要議題にならなかった」との発言を受け、一時128.64を付けたが、勢い続かずその後やや下落。ロンドン時間にはデギンドスECB副総裁が7月利上げの可能性に言及したことでユーロ円は140.00まで上昇したが伸び悩んだ。ドル円にも波及し127.82まで下落した。ニューヨーク時間では、パウエルFRB議長の発言を前に米金利上昇を横目にドル円も128.70まで上昇するも、5月FOMCでの50bp利上げが議題に上がるとの発言に留まり上昇一服。128.38レベルでクローズした。

本日のドル円は底堅い展開を予想する。ここ数日ドル円は調整局面となったものの、ブラックアウト期間を前に米国の5月50bp利上げ織込みが確認され、指値オペをはじめとする日銀の緩和維持姿勢との違いが明確になった。フィラデルフィア連銀景況指数は予想を下回ったが、支払価格や販売価格が上昇しており物価上昇が明白だったことも、ドル円上昇の支えとなるだろう。本日は、ECBラガルド総裁の講演に注目したい。ユーロの早期利上げを支持し再びユーロ円が140円に乗せれば、ドル円をサポートすることに留意する必要がある。

東京	東京時間のドル円は128.00レベルでオープン。仲値にかけて128円台半ばまで買われた後は方向感無く推移。鈴木財務相による「G7財務相会議において、為替は主要議題にならなかった」との発言を受け、正午頃に一時128.64まで上昇するも、その後勢い続かず。日米財務相会談を控えた警戒感もあってか、やや値を落とし、128.13レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、128.13レベルでオープン。材料難の中128円を挟んだもみ合い。50銭程度の値幅で推移し128.22レベルでNYに渡った。一方でユーロ円は、ECB副総裁が7月利上げについて言及したことで朝からユーロは買われたことで一時2015年以來の140円ちょうどをつけた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は128円ちょうど付近でスタート。アジア時間は買い優勢で一時128.64まで上昇。G7財務相・中央銀行総裁会議で新たな円安けん制発言は見当たらなかったが、その後ドル円は伸び悩む。欧州時間では対ユーロのドル売りが重しとなり、127.82まで下落後、128.22レベルでNYオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数・継続受給者が発表されるも予想範囲内の結果に市場の反応は限定的。その後、米金利上昇を眺めながらの買いが進み、さらにデーリー・SF連銀総裁の「複数回の会合で50bpの利上げを決定する可能性が高い」の発言が伝わり、短期金融市場が7月に3回目の50bp利上げを100%織り込むと、ドル買いも加速し128.70まで高値を更新。午後はパウエルFRB議長とラガルドECB総裁が参加している討論会が注目され、パウエルFRB議長からは5月FOMCで50bp利上げが議題となる等の発言が伝わるが、既に織り込み済みのためか、その後は米金利の低下とともに128円台前半まで反落。終盤は小動きとなり、128.38レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。一時1.0824まで下落するが、デギンドスECB副総裁の「データ次第で7月利上げは可能」との発言を受けてECBの早期利上げ期待からユーロ買い戻された。1.08台後半ではストップロス巻き込みながら一段と買いが加速し、1.0912レベル回復後、1.0936をつける。買い一巡後、1.0880近辺まで反落し、1.0880レベルでNYオープン。朝方は米金利低下が重しとなり、1.0842まで下押し。午後はラガルドECB総裁の発言が注目されるも特段新規手がかりは見つからず、動意乏しくなる。終盤は上値重く推移し、1.0831レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・上遠野